

ヤマトシロアリも水を運べる！

ネットや色々なシロアリ文献でヤマトシロアリはイエシロアリのように水を運ぶ事が出来ないという記載が多数ありますが実はそうでもないのです。

常に湿った場所に生息しているという統計的な考えからそう思われるのかも！しかし、ようやくこうした間違いが研究者によって正され、イエシロアリにはあるがヤマトシロアリにはないといわれてきた体内の水嚢(すいのう)が発見されました。(ただそうした水嚢が水の運搬手段になっているかどうかは不明)

シロアリは地下やそれに代わる水源で水をのみ、物質をかじります。また、蟻道そのものが地下から湿った空気を導くパイプにもなっている。だからヤマトシロアリがダンボール箱や畳などの乾燥したものを加害する場合必ず加害場所は濡れているのです。

建築中の蟻道の先端は常に濡れていて、内皮構造をもつ幹線蟻道も常に濡れている。要するにイエシロアリもヤマトシロアリもまちがいなく水を遠方や高所に運ぶ能力がある。

補足:「イエシロアリは水を運んで木を濡らしながら食べる」などという説明が一部のサイトや本に掲載されていますが、べつに濡らしてかじっているわけではありません。そのまんまかじっているだけです。